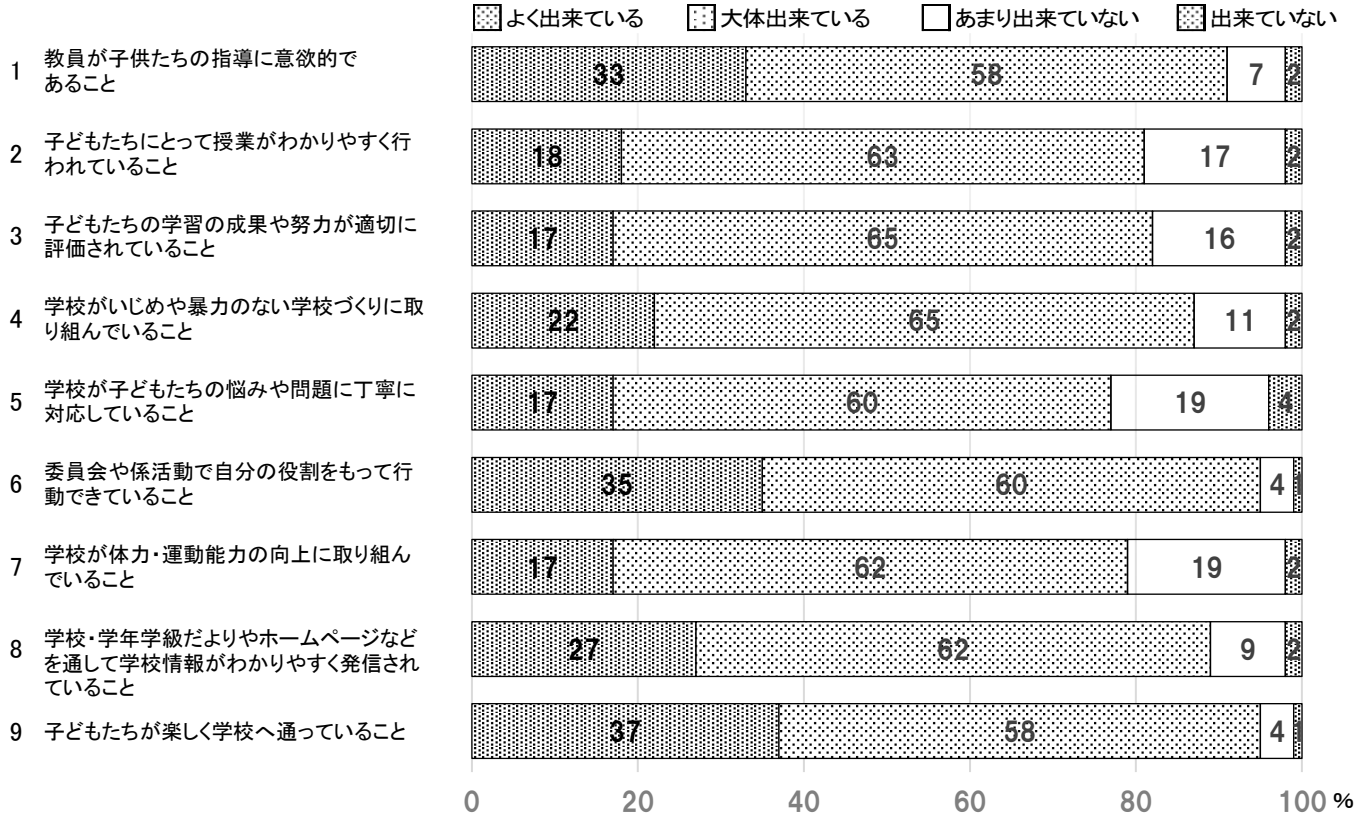
令和元年度　三鷹中央学園　学園・学校評価アンケートまとめ

【第四中学校】

アンケート実施日	：	令和元年10月28日～11月5日
アンケート対象者	：	第四中学校保護者
回　収　率	：	335世帯/352世帯（95.2%）



アンケート結果から得られた成果と課題

※「肯定的回答」…「よく出来ている」「大体出来ている」の合計
※「否定的回答」…「あまり出来ていない」「出来ていない」の合計

成果

今年度は、「わからない」という回答の選択肢をなくしたため、すべての質問項目に対して、肯定的回答の割合が高まりました。肯定的回答の割合を高い順に見たとき、昨年度からの大きな変化はありませんでした。肯定的回答の割合が最も増加したのは、4「学校がいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいること」でした。年3回、「いじめゼロサミット」を実施して、各学年のいじめ未然防止対策を紹介し合うなど、生徒たちの意識が高まっていることも要因だと思います。学校生活振り返りアンケートでも、「自分たちの学校にいじめが起きないようにしている」と答えた生徒は91％でした。また、昨年度同様、肯定的回答の割合が最も高かったのは、9「子どもたちが楽しく学校へ通っていること」で、95％でした。学校生活振り返りアンケートでも、「自分のクラスが好きだ」と答えた生徒は92％ですが、すべての子どもたちが楽しく通うことを目指し、ベテラン教員の学級経営や教科指導技術を若手教員に継承していきます。

課題

今回否定的回答の割合が2割を超えたものは、5「学校が子どもたちの悩みや問題に丁寧に対応していること」、7「学校が体力・運動能力の向上に取り組んでいること」の2項目でした。いずれも、昨年度からの肯定的回答の割合は20ポイント程度増加しており、高増加率ベスト3に含まれます。昨年度「わからない」と回答した保護者が肯定的回答に転じたと考えられます。学校生活振り返りアンケートでは、「自分のことを理解してくれる先生がいる」と答えた生徒は85％、「自分の悩みや問題を相談できる人がいる」と答えた生徒は83％でした。引き続き、教員間で生徒情報を共有するとともに、スクールカウンセラーとも連携しながら、子どもたちの悩みや問題の解決に取り組んでいきます。また、安心・安全な学校生活により、悩みや問題は減少していくので、教師と生徒の信頼関係及び生徒相互のよりよい人間関係を育てるため、日頃から学級経営の充実を図ります。体力・運動能力の向上に関しては、都の体力調査の結果から、弱点を分析し補強を図ります。